

雨水活用講演会

～天水博士 村瀬誠氏がやってくる！～
「雨水から天水へ
雨水活用最前線」



4月17日(日)に東邦大学薬学部客員教授で、NPO 法人
雨水市民の会理事である村瀬誠氏をお迎えして開催しました。

80人を超える参加があり、質疑応答の時間いっぱいまで質問が飛び交い、会場は熱気につつまれていました。



当初の予想以上の参加があった理由として、会員からの呼びかけ協力があったこと、雨水に関して市民の方の関心が高まっていること、環境に良い活動として、市民にとって雨水タンク設置が取り組みやすいものであること等が考えられます。

当日実施したアンケートには58人の方の協力があり、市の広報紙をみて参加された方が多く、講演会については、9割の方が良かったとお答えいただきました。

雨水タンクを知らなかったほとんどの方が、興味を持たれ、設置を検討されると回答されており、講演会を開催して良かったと部員一同喜び合いました。



質疑応答の様子

『「流せば洪水」、「溜めれば資源、」公共の建物を建設する時に雨水を溜めたり、利用したりするものを作っている例を教えてもらって非常に良かった。重要な働きが解りにくかったが今回出席して理解を深めた。』

『雨水、雨に対する考え方に感銘を受けました。これからの時代、雨に恵まれた日本において雨水利用のネットワークは必要不可欠なものであると考えています。』

『エコから防災、更に平和利用まで、大変有効で奥が深い事が理解できた。』

『自宅の電気・ガス・水道を減らそうと考えていたので、雨水の有効利用を是非したい』等の感想をいただきましたが、次のようなご意見もいただきましたので、今後の活動の参考とさせていただきます。

『雨水利用のためのタンクを手作りする講座を開いてほしい。』

『中学校での啓蒙教育を痛感。』

『生駒市民にも広報等で生活の中でできる雨水活用の例を知らせてほしい。』

『大変勉強になりました。次回は更に具体的な話が聞きたいです。』

『条例で雨水利用を強制するのは生駒も見習うことだ。タンクの清掃対策、メンテ対策も知りたい。』等